

湘南大庭の未来を考える タウンミーティング 結果報告書

湘南大庭の未来を考える会議

2023年（令和5年）7月

○実施概要について

開催日：2023年7月15日（土）13時30分～15時45分

場所：湘南大庭公民館 体育室

対象者：湘南大庭に関わりのある人

目的：湘南大庭地区活性化に係る取組の現状について地域住民に理解してもらうとともに、地域住民からの意見を幅広く集めること。

コーディネーター：實方副会長

内容：(1) 第1部 湘南大庭の現在地と将来像
(2) 第2部 グループワーク
(3) パネル展示及び意見箱の設置
(4) HPを通じた意見投稿（参加者以外も含む）

周知：(1) 湘南大庭市民センター、湘南大庭市民図書館、保健医療センターへのチラシ配架依頼
(2) 地区内自治会・町内会による地域回覧
(3) 地区内小中学校へのチラシ配布
(4) イオン、とうきゅう、藤沢西高、湘南看護専門学校へのチラシ配架依頼
(5) 地区内自治会・町内会長へのチラシ送付
(6) LINEによるイベント情報の配信

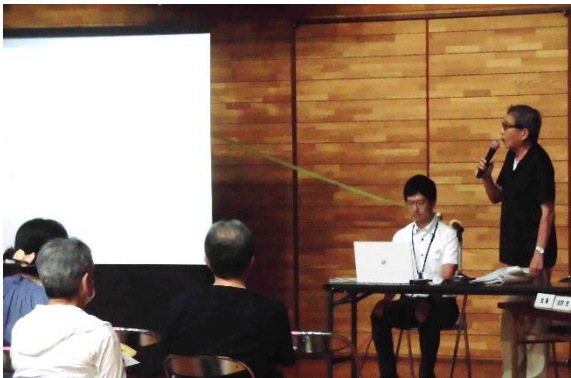
○実施内容について

1 第1部 湘南大庭の現在地と将来像

進行：實方副会長

説明内容：1. 湘南大庭地区の現状（説明者 住宅政策課大矢）
2. 湘南大庭地区の魅力と課題（説明者 桃井委員、道上委員）
3. 将来像に向けたキーワード（説明者 中村委員）
4. 目指すべき将来像（説明者 住宅政策課大矢）

参加人数：42人



2 第2部 グループワーク

進行 : 實方副会長

テーマ: Aグループ

『色々な人々が暮らし、集い「助けあう」ことができるまち』

Bグループ

『誰もがいくつになっても「生活の中にいろどりや楽しみがある」まち』

Cグループ

『湘南ライフタウンらしさを内と外へ「発信し続けられる」まち』

参加者: 18人(6人×3グループ)

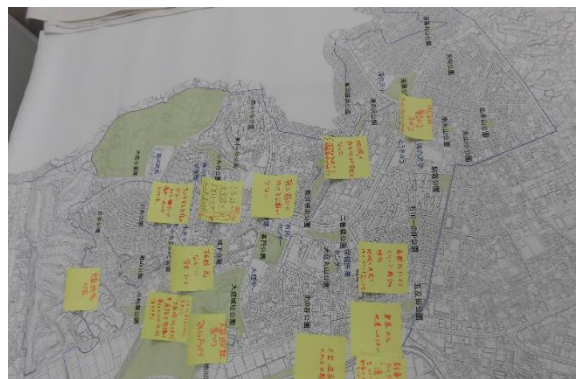
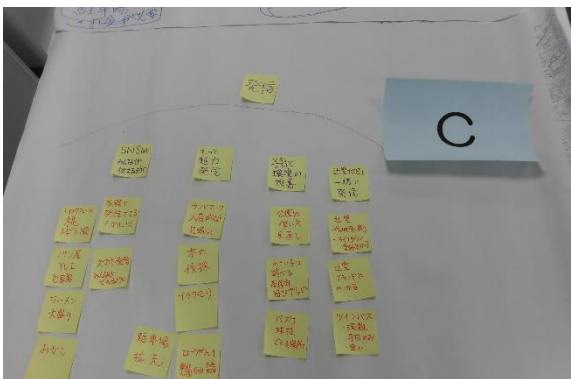
●主な意見について

Aグループ 『共生』	・住環境がよいこと、大きな公園が複数あること、生活利便性が高く、計画的にまちがつくられていることなどが大きな魅力であり、外から見ると湘南大庭は恵まれたまちである。
	・高齢者の見守りや買い物等の生活支援など、お互い助け合う取組を実施している自治会もある。
	・自治会では、若い世代の参加が進まず、会員の高齢化や、会員数の減少が課題。
	・コロナ禍でイベントが減少したことも、コミュニティの形成において課題。
	・防災関係やイベント等を通じ、高齢者から現役世代、子どもたちなど色んな世代が交流できるとよい。
	・コミュニティの取組は、強制では続かない。できることを続けていくことが大事。
	・お互いの顔が見える関係をつくる必要がある。
	・人の動きが少ないということは、顔見知りが多いということ。顔見知りが多ければ、自治会に限らない横の繋がり、連携ができる。
Bグループ 『生彩』	・自治会がこれまで行ってきた好事例を広めながら、自治会の枠にとらわれず、住人が助け合うことができるまちを目指す。
	・「大庭は楽しい」ということを感じてもらうことが大切。大庭城址フェスや音楽ライブ、甲冑を着た競争、マルシェなどのイベントを行う。

	・ イベントを行うにあたり、施設として使いづらいところなどは適宜改修する。
	・ イベントは、構想するだけではなく、まず1回やって、実現させる。
	・ 大庭城址だけでなく、その周辺の魅力も向上させるために、農家カフェ等の地産地消の飲食店を促進する。
	・ 周辺の大学と連携し、大庭の自然・歴史・農業などを体験できるイベントを行う。
	・ 高齢化の問題もあり、住民だけでイベントを続けることは難しいため、地域資源である民間企業等と連携する。
	・ 駐車場多数の道の駅をつくる。
	・ 色々な世代がイベントに参加できるように、車いすやベビーカーが通りやすいように道路を整備する。
	・ 地域でランチやお茶を飲んだりして、みんなで集まることができる店を増やす。
Cグループ 『発信』	・ 例えばおいしいお店の情報等を、SNS等で気軽に、高齢者も含めてみんなが発信できるようにする。
	・ 地域の中にランドマークがあるとよい。課題はあるが、大庭城址公園を活用したり、大庭城址公園と引地川親水公園をロープウェイで結ぶなど。
	・ 地域の魅力を発信するために、テレビ等のメディアに湘南大庭を取りあげてもらう。
	・ 住みやすいまちと言われ人気がある辻堂と一緒に情報発信する。
	・ 便利なツインライナー（連節バス）をもっとPRする。
	・ 公園の使い方の見直し、子どもが遊べる場所を充実させることを行い、子育てしやすいまちとして情報発信する。

●コーディネーター（實方副会長）からの総評

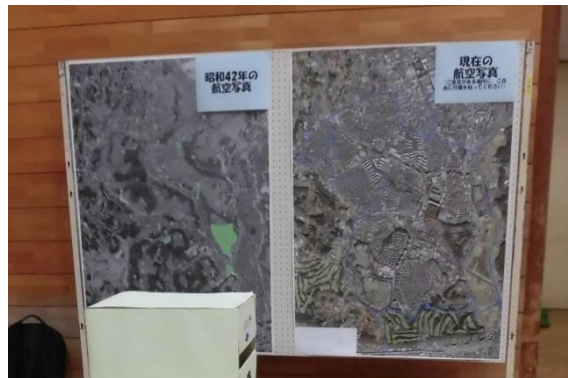
今回のグループワークでは、各グループで夢のある話と現実を見る話の両方が意見として出された。これだけ幅広く、深いところまで議論していただいた成果は、今後の湘南大庭の未来を考える会議の検討の中で大いに活用させていただく。



3 パネル展示の様子及び意見箱の設置結果

●展示の内容

- (1) 湘南大庭地区の魅力・課題・将来像について
- (2) 2022年（令和4年）実施のアンケート結果について
- (3) “湘南大庭地区子ども会議マイミライ”で出た意見について
- (4) 昭和42年と現在の航空写真
- (5) まちづくり初期の航空写真（小糸小学校から借用）
- (6) ふじさわこどもまちづくり会議で作成された模型（ふじさわこどもまちづくり会議から借用）



●意見箱に寄せられた意見内容（要約）

①	<p>共生－外からの交流の少ないまちというが、域内で、コミュニティカフェ、コミュニティ図書館（本を持ち寄る）を開くとよいのではないか。</p> <p>生彩－大庭城址のフェス、マルシェはよいと思った。</p> <p>発信－まず、個々にビラで情報を伝えることが重要ではないか。</p>
②	<p>若い人を取り込みたいのはわかるが、日本全体として少子高齢の時代なので、高齢の方でも楽しくするまちをめざした方がよいのでは。</p> <p>高齢者だけが楽しいのも違うが、若い人に頼ろうとすると逆に来たがらないのではないか。</p> <p>外国人も住みやすいまちになれば人口も増えるのではないか。</p>
③	<p>活動をもっと周知して、参加を促した方がよいと思う。</p>
④	<p>こまごまとした内容ですが・・・南大平のバス停が上りと下りとの間が400m程離れているのを改善してほしい。</p>
⑤	<p>藤沢市各組織に対する素直な意見要望がしっかり取り込めるような場として、このようなタウンミーティングは有効だと考える。</p> <p>多くの検討課題がある中で、ハード面とソフト面に分けて進んでいく方がよいと思う。</p> <p>その中で各自治会問題についても取り上げて行ってほしいと思う。自治会が弱ってきている。自治会館、集会所も老朽化している。市からの支援策の充実を含めこれからも考える会議の発展を祈っている。</p> <p>今後は慶応大学付近の遠藤地区の開発と、湘南大庭地区を合わせた将来像を描く必要があると考える。これからもがんばってください。</p>
⑥	<p>アンケート結果で住みやすい街と回答されているにもかかわらず、移住者がなぜ少ないのかを考えていくことも大切だと思う。</p> <p>ライフタウンは古いマンションが多く、新しい新築物件が少ない所だが、この団地を再生するために、古民家の活用や、移住者の方々が住みやすい住宅等に変換していくのもよいのではないか。古いものを再利用していくのもSDGsの取組としてよいと思う。</p> <p>若い人もこの様な場に参加できる取組も大切だと思う。</p> <p>コンパクトシティ構想の1つとしてこの湘南ライフタウンのまちづくりを再度考えていく良い機会かと思う。</p> <p>高齢化率が高くなることは今後さらに避けられないので、一層高齢者中心のまちづくりを行い、働く場の創出もできるとよいと思う。</p>

4 HPに寄せられた意見投稿内容（要約）

①	<p>未来を想像して困るだろう事を並べてみる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ゴミ収集…高齢化が進むと、分別が困難な人が増える。多少分別できていなくても目を瞑ってもらったり、生前整理を行えるとよい。・町内会…高齢者にとっては、介護や通院を背景として役員など定期的に回ってくる事に不満や悩みを抱えながら、町内会を抜ける家が増えている。町内会には、事情を察して理解してほしい。・坂道、斜面…高齢者にとっては家の前の坂道を登るのも、周りを歩くのも辛くなるだろう。自宅の外構、塀、樹木も手入れが不十分に。・文字、老眼、思考…文字が書けるうちに、エンディングノートや未来の日記に不安を記すことで、問題を可視化出来るかもしれない。できれば、40歳から勧めてほしい。・選挙…外出できない老人は、選挙の為に小学校や期日前投票に行く余力もなく、文字も書くのも億劫。・デジタル化…スマホに対応できない老人が増えるので、アナログに対応する店を増やしていくべきでは。・多様化を学ぶ…できない人に対して、周りが理解してもらわないと、それが原因で悩みを抱え、孤立や引きこもる老人が増えてしまう。・家事のサポート…出来るだけ、文字が書けるうちから支援制度を利用すると良い。本当に困った時に申し込み方がわからない。・買物…巡回する豆腐屋が来ていたが、移動式スーパー等と呼ぶ事で、近隣の人が買物できると良い。
②	<ul style="list-style-type: none">・街路緑の保全。・外国人へのマナー伝達を徹底する。（ゴミの仕分け、公園等の公共広場で大声を出さないなど）
③	<p>高齢化が進んでいて、建物も古い。複合商業モールでもできたら良いのと思う。</p> <p>平塚は新しい商業施設ができて、駅から遠いところも賑わっている。湘南大庭の商業施設も、もう少しなんとかならないものか。</p>
④	<p>湘南大庭は、これからどんどん高齢化が進んでいくと思う。だから体が不自由な人や、独居の人が安心して暮らせるシステムを湘南大庭全体で共有し、様々な世代がお互いを助け合い、自然と笑顔になるような街になればいいと考えた。（例:買い物支援や、小中学生と高齢者同士の交流を深めることを行う）</p> <p>また若い世代も楽しく暮らせる街づくりも並行して行うことが、今の</p>

	<p>湘南大庭にとっても大切だと思う。</p> <p>個人的にこの街が好きだなと思った事が2つある。1つは高齢者同士の交流が盛んなこと、2つ目は子どもが文化に触れられる瞬間が多くあること。</p>
⑤	<p>全世代が安心、安全に生活ができ、楽しく明るい街になってほしい。千葉県のスマートコミュニティ稲毛の様な街づくりも参考になるかと思う。</p>
⑥	<p>1 歩道の舗装について 経年劣化ですり減り歩きづらい部分がある。再舗装をお願いしたい。</p> <p>2 南永山公園について 動物の遊具がかなり古いので、取替を検討してほしい。また、樺の木が大きすぎて昼でも暗いので、剪定してほしい。</p> <p>3 遠藤公園について 公園南西部のヒマラヤスギに毎年カラスが巣を作っているの、間引いて代わりに花木を植えてほしいのと、散策路が歩きやすく、殺風景なので、路面素材やコースの変更、花壇や低木の配置をしてほしい。また、公園南西部の交差点付近に新しく入口を設けて回遊性を高めてほしい。</p> <p>4 とうきゅう西側の空き地について 周辺住民が気軽に利用できる広場にしてはどうか。</p> <p>5 期日前投票所について 地区に高齢者が多いため、湘南大庭市民センターに期日前投票所を設置してほしい。</p> <p>6 循環交通について 地区内を循環するミニバス等があれば、高齢者の買い物や地域内交流・活性化に有効だと思う。</p> <p>7 高齢者のマッサージ券配付について マッサージだけでなく、バス乗車券やスポーツ施設利用券なども追加すれば、高齢者の外出を促進し、健康増進にもなると思う。</p>

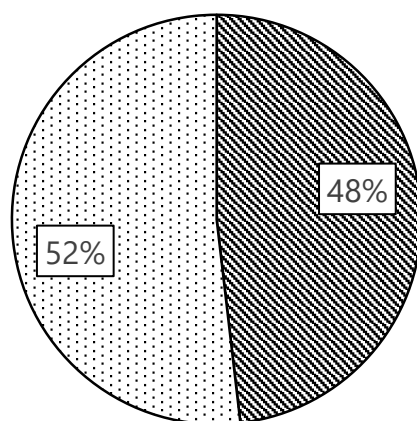
○アンケート結果について

アンケート回答者 27人

1 第1部の内容は理解できたか

選択内容	回答数	割合
よく理解できた	13	48%
まあ理解できた	14	52%
あまり理解できなかった	0	0%
全く理解できなかった	0	0%
参加していない	0	0%
無回答	0	0%

第1部の内容理解 (n=27)

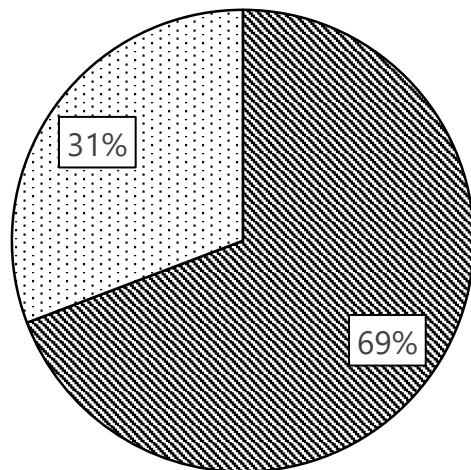


■ よく理解できた □ まあ理解できた

2 第2部に参加してよかったか

選択内容	回答数	割合
良かった	9	33%
まあ良かった	4	15%
あまり良くなかった	0	0%
全く良くなかった	0	0%
参加していない	0	0%
無回答	14	52%

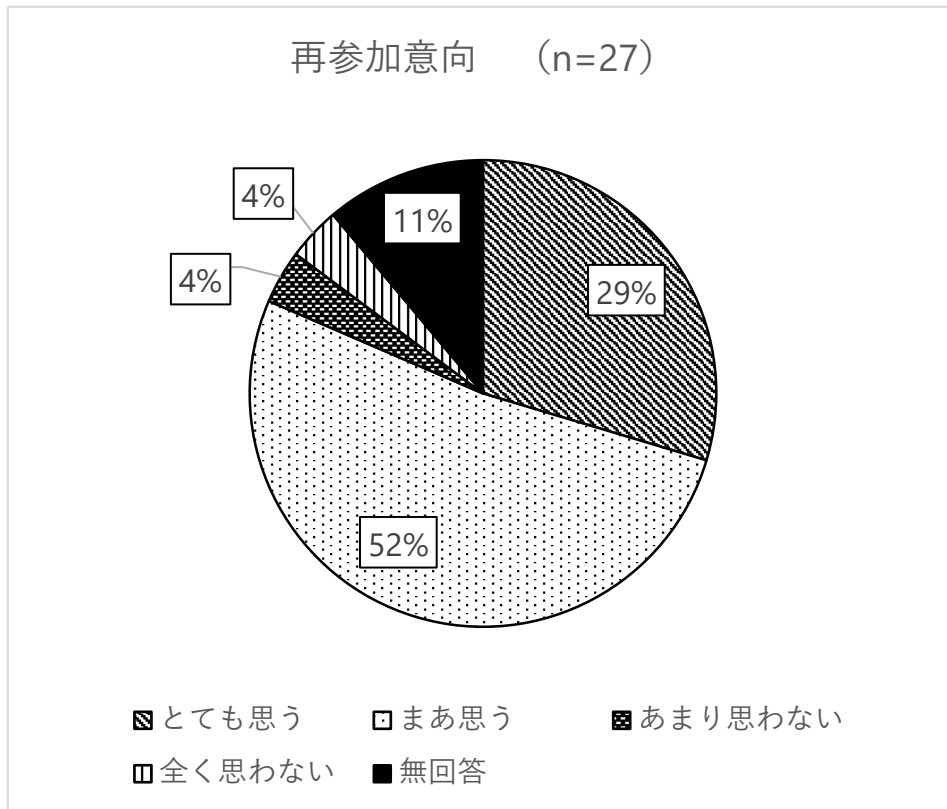
第2部の満足度（無回答除く）（n=13）



■ 良かった □ まあ良かった

3 また参加したいか

選択内容	回答数	割合
とても思う	8	29%
まあ思う	14	52%
あまり思わない	1	4%
全く思わない	1	4%
無回答	3	11%



4 感想（自由記述、抜粋）

- ・グループワークは有意義だった。色々な意見が聞けてよかった。【同内容複数あり】
- ・湘南大庭の現状がよく分かった。全体的にはよく分析されていた。【同内容複数あり】
- ・将来像が抽象的で、具体的にどうしていくのかが見えない。【同内容複数あり】
- ・もっと色々な世代と話し合う必要はある。今回のようなグループワークだと、子どもの参加は難しい。

5 まちへの意見（自由記述、抜粋）

- ・まちの魅力である閑静さ、落ち着きは維持したまま、活気があるまちにしてほしい。【同内容複数あり】
- ・大庭城跡を利用したいという意見には同感。
- ・新しいことをどんどんやっていける、柔軟なまちになってほしい。
- ・湘南大庭の魅力をどんどん発信できる機会をつくってほしいと思った。
- ・コミュニティの強いまちにしたいと思った。

- ・ B R T等、駅までのアクセスを向上させてほしい。
- ・ もっと活動を周知したほうがよい。
- ・ 顔の見える関係づくりが重要。
- ・ 思いやりあふれるまちになるための具体的な方法をもっと考えてください。
- ・ 湘南地域全体での取組が必要。
- ・ 高齢者の日常生活のしやすさにつながるまちづくりを進めてほしい。(特に中高層団地など、移動販売車を活用するシステムづくり)
- ・ オルタナティブ教育※を行う学校やフリースクールの充実等、教育先進地区に。
- ・ 路面の舗装等、安全で歩きやすいまちにしてほしい。
- ・ 高齢化により、自治会でも役員のなり手不足がある。
- ・ 活気ある若い人も老人も楽しく過ごせるまちになってほしい。

※オルタナティブ教育…現在の公教育(公立学校や私立学校)とは異なる、独自の教育理念・方針による教育。

以 上